

＜平成 27 年度＞

市議会事務局の取り組み実績

I 重点施策・事業

◆市議会事務局の機能強化

二元代表制の一翼を担う議会がその役割を十分に果たせるよう、市議会事務局における調査機能や政策法務機能の強化に努めます。

また、改選後の平成 27 年度においては、初当選の議員も含めた運営となる常任委員会の所管事務調査等が円滑に進められるよう、事務局としてサポートに努めます。

実績

- ・継続的に OJT を実施するとともに、担当職員を市町村アカデミー主催の議会事務研修や新聞社主催の広報紙セミナー等に派遣することにより、市議会事務局の機能強化を図った。
- ・常任委員会や特別委員会で実施された所管事務の調査において、委員派遣の手続、調査報告書の原案作成を行うなど、適切にサポートを行うことにより、円滑に調査を進めることができた。

◆通年議会の実施

平成 27 年 5 月から通年議会が導入されます。これにより、会期に制限されず、必要に応じて議会が主体的・機動的に本会議を開き、活動できるようになります。導入後は、円滑な会議運営に努めるとともに、さらに充実した運営体制構築のため、課題の検証を行います。



実績

- ・5 月から通年議会が導入され、9 月には初の緊急議会が開催された。また、市長選挙の影響で変則的な議会日程になる中、適切にサポートを行うことにより、円滑に会議運営を進めることができた。
- ・国会における法案可決に伴う対応のため、年度末に想定していた緊急議会の開催は最も大きな懸案事項であったが、平成 27 年度は開催の必要がなかったため、引き続き開催を前提に課題の検証に努める。

◆会議録検索システムの運用

新たに導入した会議録検索システムの運用に伴い、従来掲載していた本会議や予算・決算特別委員会の会議録だけでなく、平成 26 年 4 月以降に開催された常任委員会や議会運営委員会等の会議録についても適宜掲載を行うなど、掲載情報の充実を図ります。

実績

- ・会議録検索システムについては、従来掲載していた本会議や予算・決算特別委員会の会議録に加え、平成 26 年 4 月以降に開催された常任委員会等の会議録や全員協議会の会議録についても適宜掲載し、掲載情報の充実を図った。なお、平成 27 年度は、前年度と同程度、約 1 万件のアクセスがあった。

◆傍聴に関する取り組み

市役所本館1階の市民室前待合ロビーに設置された市政情報モニター（写真）やホームページ等を活用し、引き続き、本会議等の傍聴を積極的に呼びかけます。

また、平成27年2月に作成した傍聴者対応マニュアルを活用し、本会議等で傍聴者に異常（体調不良等）があった場合でも適切に対応できるように努めます。



市政情報モニター（市役所本館1F）

実績

- 市役所に設置された市政情報モニターや掲示板、また、枚方市議会報やホームページ等を活用し、引き続き、本会議等の傍聴を積極的に呼びかけた。なお、平成27年度における本会議の傍聴者は、前年度から8人増え、344人となった。
- 傍聴者対応マニュアルを活用し、本会議等で傍聴者に異常（体調不良等）があった場合でも適切に対応できるよう備えたが、実際に活用するケースはなかった。引き続き、職員にマニュアルの周知徹底を図り、適切に対応できる状態を維持する。

◆災害時における支援活動体制の強化

平成26年度に実施した市議会災害対策連絡会議の設置訓練における課題を踏まえて作成した「災害伝言ダイヤル操作ガイド」を活用した訓練を実施します。

また、平成27年5月より通年議会が導入されるため、災害発生時にも迅速かつ円滑に「緊急議会」が開催・運営できるよう、こうした場

合に提出が想定される議案等について、平時から調査研究に努めます。

さらに、災害時における現地調査・視察等の議会活動に必要な防災服を、全議員に配付します。

実績

- 平成27年度災害対策本部訓練（1月15日）に合わせた市議会災害対策連絡会議において、災害伝言ダイヤル操作ガイドを活用した安否確認訓練を実施するとともに、さらなる災害対策の強化を図るため、訓練実施後には課題や改善点を出し合う意見交換会を実施した。
- 災害発生時に迅速かつ円滑に議会開催・議会運営等が行えるよう、岩手県陸前高田市の市議会議長及び事務局長を講師に招き、「震災復興と議会の取り組み」について、実体験を元にした議員研修会を実施した（2月10日）。
- 災害時における議会活動に必要な防災服を全議員に購入した（議員自費購入）。

◆災害発生時における新たな通信手段の検討

上記「災害伝言ダイヤル」に加え、さらに災害発生時の通信手段を確保するため、新たなシステムの導入を検討します。

実績

- 過去の大規模災害等が発生した際には、電話が繋がりにくくなるといった事象があったことから、これまでの「災害伝言ダイヤル」に加えて新たな手法として、インターネットを活用した「災害インターネット掲示板」を導入した。今後は、災害発生時にも迅速かつ円滑な議会運営が行えるよう、インターネット掲示板を活用した災害訓練等を実施する。

◆他の市議会との広域的な連携

他の市議会との広域的なネットワークを本市議会の運営に十分活用できるよう、全国・中核市・近畿・大阪府・河北の各市議会議長会などの各種団体が実施する事業への積極的な参加を促すとともに、他市事例や国の動きなどの情報把握に努めます。

また、平成27年7月に開催される河北省議会議長会の実施担当市であることから、開催準備や当日の運営などを行います。

実績

- ・各市議会議長会主催事業や河北事務担当者会議への積極的な参加を通じて、他市事例や国の動向などの情報収集・情報把握に努めた。
- ・7月27日に市立ひらかた病院において第142回河北省議会議長会を開催し、共通的な諸問題を協議するとともに河北7市間の連携を深めた。

◆議会関係の設備の充実

円滑な会議運営と活発な議員活動をサポートするため、議会関係の設備の適正な維持管理に努めるとともに、必要に応じて設備の修繕または更新を図ります。

実績

- ・老朽化が進んでいた議場のスピーカーを更新した。なお、議場での発言が傍聴席から聞こえにくいとの声が寄せられていたため、更新とあわせて傍聴者用のスピーカーを増設した。
- ・同じく老朽化が進んでいた委員会室のマイクシステムを更新した。その際、赤外線マイクシステムを導入したため、従来の有線マイクシステムと比べ、設置に要する作業が大幅に軽減された。

◆新任期の円滑な運営

平成27年4月の市議会議員の改選後の議会運営を円滑に進められるよう、速やかに全議員を対象とした議員総会及び初当選の議員を対象とした説明会を開催します。

なお、初当選の議員に対しては、市政に対する知見を深めるための研修会を別日程で実施します。

また、改選後に必要となる各種データ、システムの更新に努めるとともに、改選に合わせて作成する「枚方市議会例規解説集（八訂版）」を全議員に配付します。

実績

- ・5月8日に、全議員を対象とした議員総会を開催し、その後の日程等の周知を図るとともに、議会の先例等を記載した「枚方市議会例規解説集（八訂版）」を配付することにより、議会に関する知識の共有化を図った。
- また、初当選の議員を対象として、同じく5月8日に議会に関する説明会を実施するとともに、5月27日・29日の2日間において市内の主要施設の視察を含む研修会を実施することにより、議会運営や市政に関する知見が深められ、議員活動や議会運営が円滑に進められるよう努めた。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
議員調査・研修事務	議会図書室に配架する資料等の充実を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 議員の調査・研究活動に資する資料の充実を図るため、事務経費の削減効果額の一部を図書購入費に充てることにより、平成27年度の購入図書は、前年度から29冊増え、84冊となった。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
議会図書室の運営の効率化	これまで議会図書室へ配架していた図書の追録の一部について、データ配信サービスを利用することにより廃止し、事務経費の削減を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 追録に多額の費用を要する加除式図書のうち判例集や法令集などを廃止し、インターネット上のデータ配信サービスを利用することにより、事務経費の削減と議会図書室のスペースの有効活用を図った。その結果、年間30万円以上の費用削減効果があった。また、議会図書室のレイアウトを変更し、議員調査資料室との一元化を図った。 	

テーマ	取り組み内容・目標
超過勤務の縮減およびワークライフバランスの推進	事務の繁忙期に限らず、事務局一元化のメリットを活かした事務応援体制の充実・強化により、超過勤務の縮減とワークライフバランスの推進を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費にかかる書類確認事務や議会運営事務等について、事務局を一元化したメリットを活かし市議会事務局全体で取り組むことで、事務量の平準化や超過勤務の縮減を図った。 	

テーマ	取り組み内容・目標
業務改善の取り組みの推進	業務改善制度を活用し、各グループごとに改善点の抽出と対策の検討を行うことで、より効率的な業務執行につなげるとともに、職員一人ひとりの改善意識の向上を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 議会中継が自席で視聴できる取り組みを行ったが、その際、改善点をグループごとに抽出し、対策の検討を行った上で実施することにより、全庁的な効果をあげるとともに、業務改善に対する職員一人ひとりの意識の向上を図ることができた。 	

テーマ	取り組み内容・目標
運営方針の共有化	「市議会事務局の運営方針」を事務局職員が常に意識して職務に当たれるよう、事務局内での掲示や概要版の配付などにより、事務局職員への周知徹底及び局内共有化を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 市議会事務局の運営方針については、事務局職員に携帯が可能な概要版（ポケットサイズ）を作成し配付することで、事務局職員が常に運営方針を意識し、職務を遂行できるよう努めた。 	

Ⅲ 予算編成・執行

◆議会費の予算編成は、各派代表者会議で協議するものとし、編成時に必要な資料の作成や質問に対する説明など、事務局として適正な準備を行います。

実績

- 議会費の予算について各派代表者会議で円滑に協議できるよう、必要な資料作成等、事務局として適正な準備を行った。

IV 組織運営・人材育成

◆研修等を活用した組織力の向上

議会・議員の活動を適正かつ迅速にサポートできるよう、次のことに取り組み、個々の職員の知識・能力向上と事務局全体の機能強化を図ります。

- ・庁内外で開催される研修への積極的な参加を促します。
- ・計画的にOJTを進めます。
- ・朝礼時間を活用して、全職員が講師を務める研修を実施します。

実績

- ・庁内外で開催される研修への参加(39回)や朝礼時に職員が講師を務めるミニ研修(51回)を実施するなど、計画的にOJTを進め、個々の職員の知識・能力の向上を通じて、事務局全体の機能強化を図った。

◆柔軟かつ効率的な事務執行体制

事務局一局体制への移行後3か年で明らかになった事務執行体制の課題を踏まえ、さらなる事務分担の見直しや事務局内の応援体制など、柔軟かつ効率的な組織運営を図ります。

実績

- ・政務活動費にかかる書類確認事務や議会運営事務等について、事務局を一元化したメリットを活かし市議会事務局全体で取り組むことで、事務量の平準化や超過勤務の縮減を図った。

V 広報・情報発信

◆「枚方市議会報」等の発行

議会報編集委員会の決定内容に沿って、本会議の内容などをまとめた「枚方市議会報」(写真)を年6回発行し、全戸配布しています(ホームページにも掲載)。

また、文字を読むことが困難な視覚障害者や高齢者のために、「点字議会報」や「声の議会報」を発行しています(声の議会報はホームページにも掲載)。

今後も、編集に当たっては、季節を感じる写真や歴史コラムを掲載するなど、読みやすく親しまれる紙面となるよう、工夫に努めます。



枚方市議会報

実績

- ・市長選挙の影響で変則的な議会日程となる中、例年の11月1日号が12月1日発行にずれ込むなどの影響があったが、枚方市議会報を年6回発行し、全戸配布を完了した。

また、掲載記事は、市民への影響が大きいと考えられる議案を中心に、本会議等の内容をわかりやすく伝えるよう努めるとともに、季節感のある写真や歴史コラムの掲載など、読みやすく親しみやすい紙面づくりに努めた。その結果、中核市議会議長会主催の議会報コンクールで一定の評価を得ることができた。

さらに、議会報編集委員会の決定に基づき、12月1日号以降は、市議会ホームページへのアクセスを容易にするため、QRコードを掲載した。

◆市議会ホームページ等を活用した議会情報の発信

傍聴に来られない市民にも本会議の様子がわかるよう、ユーチューブを活用して一般質問や代表質問の録画映像を配信するとともに、本会議の日程や審議結果等については新着情報を随時更新するなど、リアルタイムな情報発信に努めます。

実績

- ・一般質問や代表質問等については、その都度、できるだけ短期間でユーチューブを活用して配信を行うとともに、会議日程、審議結果等については、直ちにホームページに掲載し、リアルタイムの情報発信に努めることにより、市民に開かれた議会の確立を図った。

◆議会経費の透明性の向上

議会交際費の支出状況や政務活動費の収支概要に加え、政務活動費に係る議員単位の収支報告書を新たに市議会ホームページへ掲載することなどにより、さらなる議会経費の透明性の向上を図ります。

実績

- ・これまで掲載してきた議会交際費の支出状況や政務活動費の収支概要に加え、政務活動費に係る議員単位の収支報告書を新たに市議会ホームページに掲載することにより、議会経費のさらなる透明性の向上を図った。